

いもう 葦毛通信



ミズオトギリ

2026年10月5日
豊橋市文化財センター
豊橋市松葉町三丁目1
TEL: 0532-56-6060

No. 190

1、三太郎池湿地観察会

豊橋市指定天然記念物「三太郎池湿地」の見学会を以下の予定で開催します。三太郎池湿地は、保護のため常時公開はしていません。愛知県絶滅危惧ⅠA類のミコシギクは自生地点近くまで行ける観察路を整備します。この機会にぜひご覧ください。

ミコシギクの開花数は2022年が84輪、2023年が102輪、2024年が67輪、2025年が169輪でした。2025年4月にカサスゲとツルヨシを刈り取り、ミコシギクが成長できるようにしました。すると、2024年に47本だった茎数が、2025年には155本まで増加しました。今年も4月21日にカサスゲやツルヨシの刈り取りを行いました。茎数は4月18日の段階で219本を確認しており、2025年の155本より40%ほど増えています。10月下旬には開花が始まると予想され、過去最高の開花数になると思われます。観察会の11月3日にはミコシギクは満開になると予想しています。

- 1 開催日時 11月3日（火・祝）9:30～12:00
- 2 集合場所 岩崎広場（岩崎町字長尾ほか）
- 3 参加申込 現地受付（事前申し込み不要、少雨決行）
- 4 駐車場 高山広場内駐車場（飯村町字高山11-19）
会場まで徒歩約10分
葦毛湿原第2駐車場（岩崎町字米山25）
会場まで徒歩約20分
- 5 交通機関 豊鉄バス飯村岩崎線（豊橋駅前発赤岩口行き、赤岩口発豊橋駅行き）「影岩」停留所下車、南へ徒歩約5分
- 6 問い合わせ 豊橋市文化財センター（☎0532-56-6060）

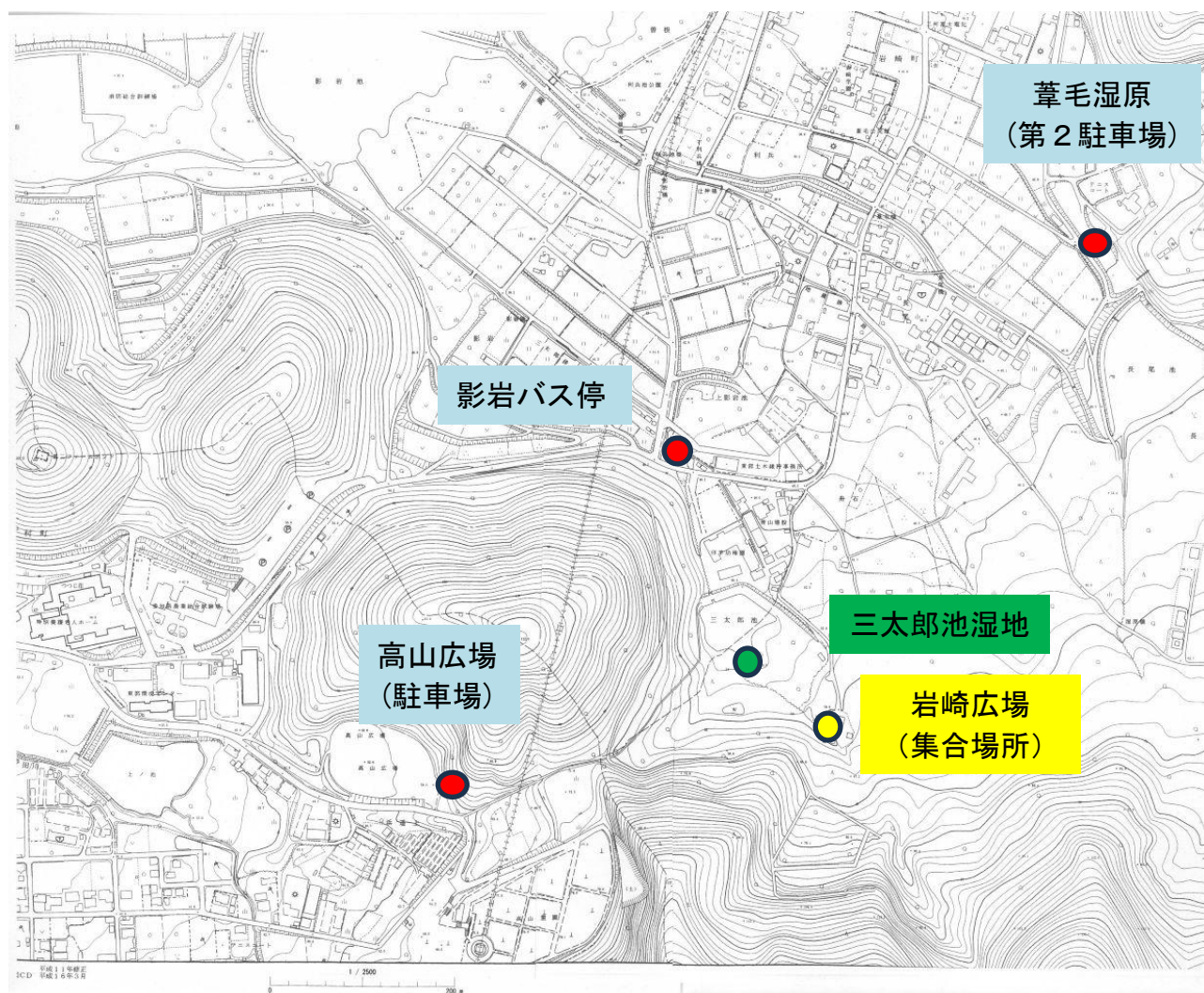


ミコシギク



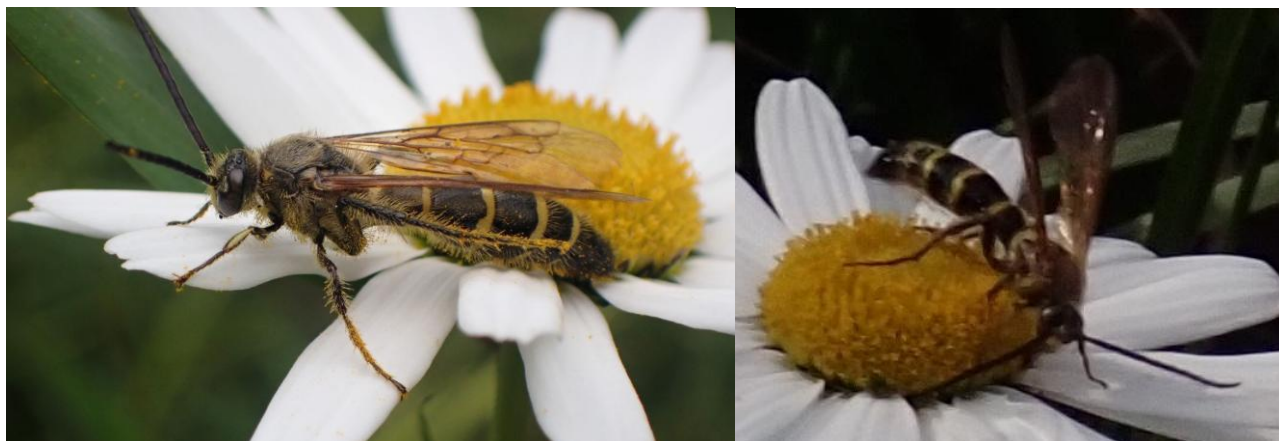
ミコシギク開花状況（2025年11月2日）

三太郎池湿地案内図

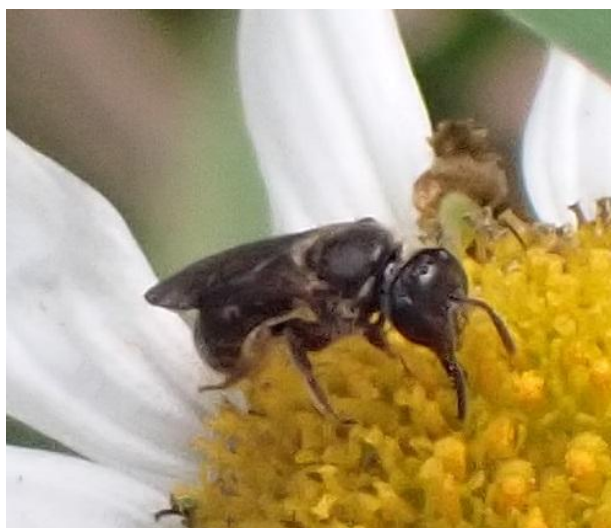


2、ミコシギクの訪花昆虫

豊橋市指定天然記念物「三太郎池湿地」のミコシギクには、様々な昆虫が訪れています。が、どのような昆虫が訪れて受粉を行ってくれているのかは詳しく調べられていません。ハチ・アブ・ハエ・チョウは蜜を吸っているようで、ポリネーターとしてミコシギクの受



キンケハラナガツチバチ



ヒゲナガコハナバチ？



キゴシハナアブ



ツマグロキンバエ



キンバエ



オドリバエ科



ルリマルノミハムシ



ヤマトシジミ



オンブバッタ

粉に役立っているようです。ハムシも花粉を食べに来ているようで、ポリネーターと思われます。ポリネーターに関しては、今後も写真記録を残していきたいと考えています。

3、ミコシギクの発芽・育成実験

ミコシギクは最後の自生地点であるD地点では順調に個体数・開花数を増やしていますが、池畔のB地点では開花数が1花のみで個体数も増加しません。そこで、域外でミコシギクを栽培して種子を採取し、それを現地に蒔き戻す取り組みをしています。

2026年3月11日に0.5×1mを4か所、1×1mを1か所、計5か所の実験区を設定し種子の蒔き出しを行いました。0.5×1mの実験区は左右に2分して種子を地表面にそのまま蒔くところと1cm程度埋めるところを造りました。1×1mのところには残った種子をすべて蒔くという方法で多くの種子を集中して蒔き出しました。1×1mのところからは、数十株のミコシギクが発芽しましたが、他は全く発芽しませんでした。しかし、7・8月に雨がほとんど降らず地表面が乾燥して全滅してしまいました。



実験区設置作業：地表面を削って裸地化した（2026年3月11日）

実験区



ミコシギク発芽状態（2026年5月3日）



発芽状態拡大（2026年5月3日）